

# 厚生常任委員会

## 資料

令和元年5月27日（月）

病院局

# 目 次

1	病院局の幹部職員	1 頁
2	病院局の組織及び経営管理課の業務概要	2 頁
3	各県立病院の概況	3 頁
4	「令和元年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要	4 頁

# 1 病院局の幹部職員

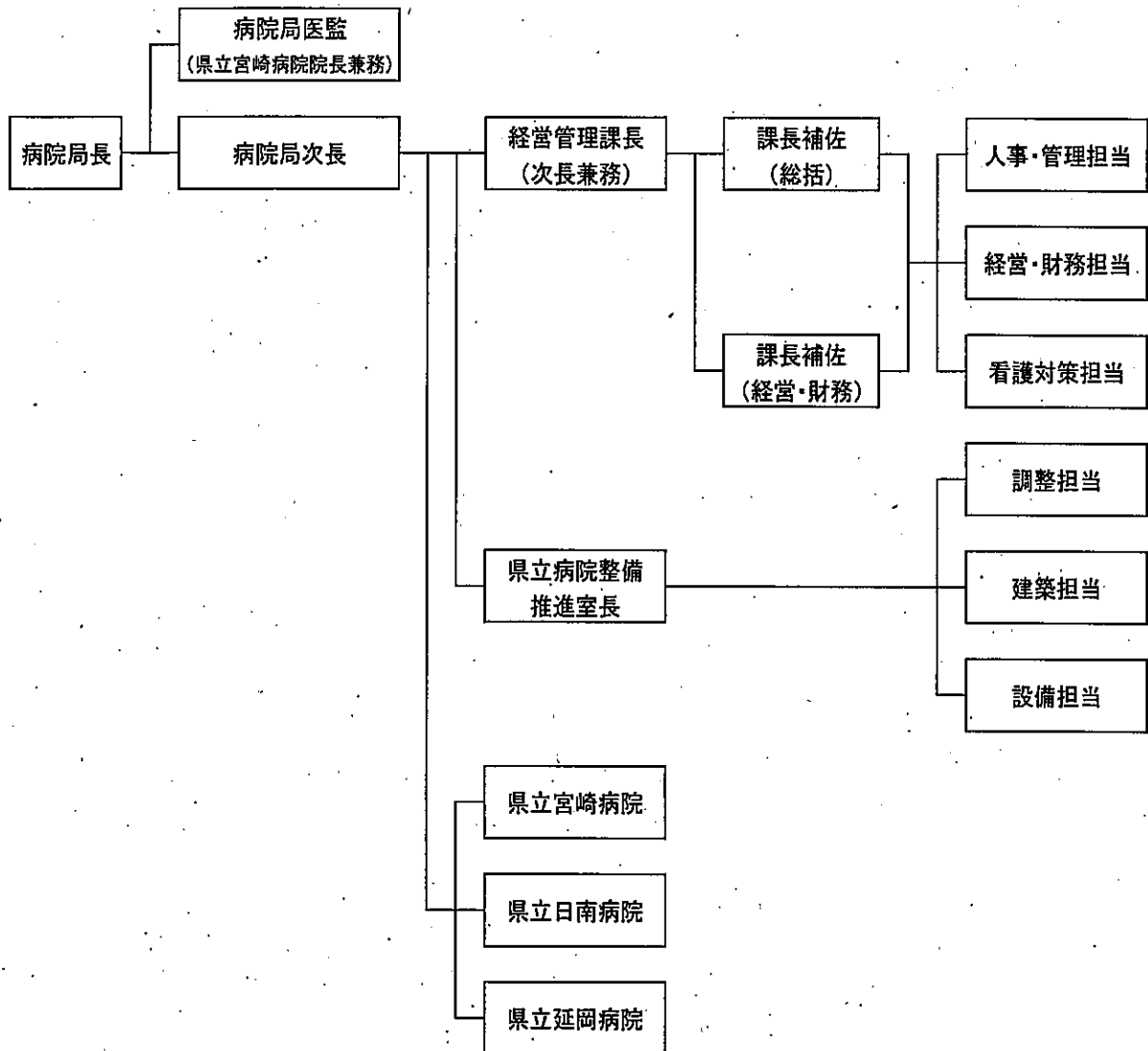
【平成31年4月1日現在】

病院事業管理者 病院局長 <small>くわ やま ひで ひこ</small> 桑山秀彦 病院局医監 <small>きく ち いく お</small> 菊池郁夫 病院局次長 <small>く ほ まさ ひろ</small> 久保昌広		
病院名	病院長名	事務局長名
県立宮崎病院	病院局医監 兼病院長 <small>きく ち いく お</small> 菊池郁夫	事務局長 <small>い い ほ し しん いち</small> 飯干伸一
県立日南病院	病 院 長 <small>みね かず ひこ</small> 峯一彦	事務局長 <small>まる た つとむ</small> 丸田勉
県立延岡病院	病 院 長 <small>てら お きみ なり</small> 寺尾公成	事務局長 <small>た なか こう すけ</small> 田中浩輔
課名	課長・室長名	課長補佐名
経営管理課	病院局次長兼経営管理課長 <small>く ほ まさ ひろ</small> 久保昌広  県立病院整備推進室長 <small>にし かわ ただ ひこ</small> 西川忠彦	課長補佐（総括） <small>く ほ のり みち</small> 久保範通  課長補佐（経営・財務担当） <small>よね まる けん こ</small> 米丸賢悟

※議会担当 経営管理課 主幹（人事・管理担当） ひ だか きよ たか 日高 清貴

## 2 病院局の組織及び経営管理課の業務概要

### 1 組織



### 2 業務概要（経営管理課）

- 県立病院事業の総合的な企画及び調整に関すること
- 県立病院事業会計の予算経理に関すること
- 病院の運営指導に関すること
- 組織及び職員の定数に関すること
- 職員の任免、給与、勤務時間その他の勤務条件、懲戒、研修及びその他の身分取扱に関すること
- 労働協約その他労働関係に関すること
- 病院の施設整備に関すること

### 3 各県立病院の概況

〈平成31年4月1日現在〉

		宮崎病院	延岡病院	日南病院
1 開設年月日		大正10年10月	昭和23年9月	昭和23年9月
2 改築年月日		昭和60年3月	平成9年11月	平成10年2月
3 病床数	稼働	535床	388床	281床
	許可	535床	410床	281床
4 診療科目	共通科目	内科、神経内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、臨床検査科、病理診断科		
	上記以外	小児外科 心臓血管外科 救急科	心臓血管外科 心療内科 救急科 呼吸器外科	心療内科
	科目数	22科	23科	20科
5 救急医療機能		3次救急医療	3次救急医療 2次救急医療	2次救急医療
6 災害医療機能		基幹災害拠点病院	地域災害拠点病院	地域災害拠点病院
7 職員数		701名	529名	350名
医師		106名	60名	39名
看護師・助産師		472名	374名	246名
コメディカル		104名	84名	53名
事務その他		19名	11名	12名

注：職員数は、平成31年4月15日現在かつ再任用短時間勤務職員を含まない。

## 「令和元年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要

### 1 基本方針

全県あるいは地域の中核病院としての県立病院の役割と機能を発揮するため、安定的な病院経営を維持するとともに、「宮崎県病院事業経営計画2015」及び「集中改善プロジェクト」の円滑な推進を図る。

- (1) 質の高い医療の提供とそれを支えるスタッフの確保・充実とともに、患者サービスの向上に努め、県民が安心できる医療提供体制の構築を図る。
- (2) 県立病院の役割として政策医療や不採算医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関等との連携やかかりつけ医等への支援、また、医師の育成等を通じ、地域医療の充実に貢献する。
- (3) DPC制度（診断群分類別包括評価）に対応した効率的な医療の提供や新たな施設基準の取得に取り組むほか、機能強化による患者数の増等に努め、収入の増加を目指す。
- (4) 必要度・優先度を踏まえた医療機器の購入や改良工事の実施等のほか、各種経費について、内容の見直しを行い、支出の削減に努める。

### 2 年間患者数（目標）

直近の患者動向等を踏まえながら、延入院患者数及び延外来患者数の目標を以下のとおりとする。

（単位：人）

	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増 減
延入院患者数	362,445	360,620	1,825
延外来患者数	375,028	373,076	1,952
合 計	737,473	733,696	3,777

### 3 新規・重点事業

- (1) 県立宮崎病院改築事業 1,934,663千円  
(債務負担行為の設定) 390,000千円)
- (2) 県立宮崎病院エネルギーサービス事業 2,401,146千円  
(債務負担行為の設定)
- (3) 県立延岡病院心臓脳血管センター整備事業 125,000千円
- (4) 県立病院経営改善事業 55,000千円
- (5) ⑩地域医療連携推進事業 10,500千円
- (6) 高度医療専門人材等育成事業 30,169千円
- (7) 臨床研修医確保・育成事業 15,605千円

#### 4 収益的収支の状況

(単位:千円)

	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増 減
病 院 事 業 収 益	34,909,415	32,430,135	2,479,280
医 業 収 益	30,604,209	28,020,299	2,583,910
入 院 収 益	22,545,246	20,763,822	1,781,424
外 来 収 益	7,023,023	6,264,493	758,530
一 般 会 計 繰 入 金	645,765	613,981	31,784
そ の 他	390,175	378,003	12,172
医 業 外 収 益	4,093,661	3,974,862	118,799
一 般 会 計 繰 入 金	2,409,517	2,309,847	99,670
長 期 前 受 金 戻 入	1,508,326	1,482,528	25,798
そ の 他	175,818	182,487	△ 6,669
特 別 利 益	211,545	434,974	△ 223,429
病 院 事 業 費 用	34,429,360	32,353,879	2,075,481
医 業 費 用	33,825,422	31,739,391	2,086,031
給 与 費	16,243,476	15,920,550	322,926
材 料 費	9,290,573	8,219,970	1,070,603
経 費	5,365,557	4,817,183	548,374
減 価 償 却 費	2,662,215	2,509,050	153,165
そ の 他	263,601	272,638	△ 9,037
医 業 外 費 用	600,938	611,488	△ 10,550
特 別 損 失	0	0	0
予 備 費	3,000	3,000	0
収 支 差	480,055	76,256	403,799

**(1) 収益・・・349億941万5千円（前年度比 +24億7,928万円）**

**入院・外来収益の増加等により、前年度比7.6%の増**

- 入院収益・・・225億4,524万6千円（前年度比 +17億8,142万4千円 +8.6%）  
延入院患者数の増のほか、DPC制度に対応した効率的な医療提供や新たな施設基準の取得等に取り組み、増加を見込む。
- 外来収益・・・70億2,302万3千円（前年度比 +7億5,853万円 +12.1%）  
延外来患者数の増のほか、地域連携の強化に取り組み、増加を見込む。
- 一般会計繰入金・・・30億5,528万2千円（前年度比 +1億3,145万4千円 +4.5%）  
繰出基準等により算定した結果、増加を見込む。  
（資本的収支分16億5,442万5千円と合わせて総額47億970万7千円）

**(2) 費用・・・344億2,936万円（前年度比 +20億7,548万1千円）**

**給与費、材料費、経費の増加等により、前年度比6.4%の増**

- 給与費……………162億4,347万6千円（前年度比 +3億2,292万6千円 +2.0%）  
人事委員会勧告に伴う職員の給与改定や職員数の増等により、増加を見込む。
- 材料費……………92億9,057万3千円（前年度比 +10億7,060万3千円 +13.0%）  
後発医薬品の採用や診療材料調達業務委託等により費用削減する一方、高額な薬品を使用する外来化学療法患者の増等により、増加を見込む。
- 経費……………53億6,555万7千円（前年度比 +5億4,837万4千円 +11.4%）  
経費節減に努める一方、消費税の増税等により、委託費の増加を見込む。

**(3) 収支・・・4億8,005万5千円の黒字**

- 対前年度比……………4億379万9千円の増



## 5 資本的収支の状況

(単位:千円)

	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
資本的収入	6,288,625	7,669,178	△ 1,380,553
企業債	4,634,200	5,992,200	△ 1,358,000
一般会計繰入金	1,654,425	1,676,978	△ 22,553
資本的支出	7,729,471	9,171,757	△ 1,442,286
建設改良費	4,981,949	6,182,097	△ 1,200,148
改築整備費	1,984,808	1,889,285	95,523
その他改良工事費	917,731	684,800	232,931
資産購入費	1,945,375	3,557,976	△ 1,612,601
リース資産購入費	134,035	50,036	83,999
企業債償還金	2,710,522	2,952,660	△ 242,138
その他	37,000	37,000	0
収支差	△ 1,440,846	△ 1,502,579	61,733

※ 資本的収支の不足額1,440,846千円については、損益勘定留保資金等で補てんする。

(1) 収入・・・62億8,862万5千円 (前年度比 △13億8,055万3千円)  
企業債発行額の減額等により、前年度比18.0%の減

- 企業債・・・46億3,420万円 (前年度比 △13億5,800万円 △22.7%)  
電子カルテシステム整備事業 (H30) の完了に伴い、企業債の減額を見込む。
- 一般会計繰入金・・・16億5,442万5千円 (前年度比 △2,255万3千円 △1.3%)  
繰出基準等により算定した結果、減少を見込む。

(2) 支出・・・77億2,947万1千円 (前年度比 △14億4,228万6千円)  
建設改良費の減等により、前年度比15.7%の減

- 建設改良費・・・49億8,194万9千円 (前年度比 △12億14万8千円 △19.4%)
  - ・ 改築整備費・・・19億8,480万8千円 (前年度比 +9,552万3千円 +5.1%)  
(主な工事)
    - ・ 新県立宮崎病院建設工事 (県立宮崎病院)
  - ・ その他改良工事費・・・9億1,773万1千円 (前年度比 +2億3,293万1千円 +34.0%)  
(主な工事)
    - ・ 西池医師公舎内部改修工事 (県立宮崎病院)
    - ・ 中央監視制御盤用無停電電源装置他改修工事 (県立延岡病院)
    - ・ 空調自動制御機器改修工事 (県立日南病院)
- ・ 資産購入費・・・19億4,537万5千円 (前年度比 △16億1,260万1千円 △45.3%)
- ・ リース資産購入費・・・1億3,403万5千円 (前年度比 +8,399万9千円 +167.9%)
- 企業債償還金・・・27億1,052万2千円 (前年度比 △2億4,213万8千円 △8.2%)

(3) 収支・・・14億4,084万6千円の収支不足

- 不足額は、損益勘定留保資金等で補てんする。

## 6 病院別収益的収支の状況

(単位：百万円)

	宮崎病院			延岡病院			日南病院		
	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減
病院事業収益	15,988	14,727	1,261	12,115	10,979	1,136	6,806	6,724	82
うち入院収益	10,381	9,512	869	7,926	7,109	817	4,238	4,143	95
うち外来収益	3,410	3,054	356	2,393	2,028	365	1,220	1,183	37
うち繰入金	1,447	1,370	77	1,025	985	40	583	569	14
病院事業費用	15,516	14,562	954	11,969	10,968	1,001	6,944	6,824	120
うち給与費	7,625	7,396	229	5,179	5,107	72	3,440	3,417	23
うち材料費	4,357	3,882	475	3,577	2,955	622	1,356	1,383	△ 27
うち経費	2,248	2,015	233	1,872	1,684	188	1,246	1,118	128
収支差	472	165	307	146	11	135	△ 138	△ 100	△ 38

※ 四捨五入の関係で病院事業収益と病院事業費用の差と収支差が一致しないことがある。

## 7 新規・重点事業の概要

事業名	1 県立宮崎病院改築事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・県単		
<p><b>1 事業の目的</b></p> <p>改築後35年が経過した施設の老朽化・狭隘化により、医療機能の提供に支障をきたしていることや、災害対応機能の充実といった様々な課題を改善し、診療機能の向上を図るため、新病院を整備する。</p>				
<p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 整備概要 鉄骨造地上8階て塔屋1階 延べ面積47,609㎡ 病床数490床（稼働病床）</p> <p>(2) 総事業費 390億円（基本設計完了時） ※入札残等により基本設計完了時から50億円の縮減が見込まれる。</p> <p>(3) 今年度の事業内容 周辺道路改築工事を完了させるとともに、新病院建設工事に着手する。</p> <p>(4) 今年度事業費</p> <p>① 1,934,663千円（令和元年度当初予算）</p> <p>② 390,000千円（債務負担行為設定額：令和元年度～令和3年度） （参考）工事費 26,580,000千円（平成28年度～令和4年度）</p>				
<p><b>3 事業の効果</b></p> <p>全県レベルの中核病院として、高度で良質な医療を安定的に供給することができるとともに、大規模災害時に基幹災害拠点病院としての役割を果たし、臨床研修を始めとした、教育・研修に資することができる。</p>				
<p><b>4 事業の経緯</b></p> <p>平成24年度 既存改修から全面改築までの案を提示</p> <p>平成25年度 概算事業費及び現在地での整備の方針を提示</p> <p>平成26年度 整備方針の決定を受け、基本構想案を提示</p> <p>平成27年度 基本設計に着手</p> <p>平成28年度 基本設計完了</p> <p>平成29年度 実施設計に着手</p> <p>平成30年度 実施設計完了、本体工事の契約締結</p>				
<p><b>5 今後の予定</b></p> <p>令和元年 本体工事着工、昇降機設備工事の発注</p> <p>令和3年9月 新県立宮崎病院建設工事の完了</p> <p>令和4年1月 新病院の開院、現病院の解体工事等に着手</p> <p>令和5年4月 新病院グランドオープン</p>				

県立宮崎病院改築事業における現在のコスト縮減状況

(億円、税込)

	基本設計 完了時 H28.10 (A)	H30当初 (B)	実施設計完了 (C)	増減 (C-A)	見込み R元.5 (D)	増減 (D-A)
準備工事等						
設計費	9.8	10.7	11.0	+ 1.2	9.8	±0.0
立体駐車場工事費						
仮設・道路改築工事費						
本体工事等						
設計費、工事監理、CM業務等	277.6	244.5	241.4	▲ 36.2	234.9	▲ 42.7
本体工事費						
外構工事費						
付帯工事等						
設計費	28.9	21.0	21.1	▲ 7.8	21.1	▲ 7.8
改修工事費						
解体工事費						
負担金等						
<b>工事費</b>	<b>316.3</b>	<b>276.2</b>	<b>273.5</b>	<b>▲ 42.8</b>	<b>265.8</b>	<b>▲ 50.5</b>

※改修工事、解体工事は未設計

医療機器整備費	65.2	65.2	65.2	±0	65.2	±0
その他費用(開院支援等)	8.5	8.5	8.5	±0	8.5	±0
医療機器整備等	73.7	73.7	73.7	±0	73.7	±0

<b>総事業費</b>	<b>390.0</b>	<b>349.9</b>	<b>347.2</b>	<b>▲ 42.8</b>	<b>339.5</b>	<b>▲ 50.5</b>
うち医療機器整備費を除く事業費	324.8	284.7	282.0		274.3	

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

# 県立宮崎病院整備スケジュール

主な工事内容	2017		2018			2019			2020			2021			2022			2023		
	平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度			[令和2年度]			[令和3年度]			[令和4年度]			[令和5年度]			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
準備工事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設工</li> <li>立体駐車建設工</li> <li>道路改良工</li> <li>5月11日</li> </ul>																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施設計業務</li> <li>3月</li> <li>5月着工</li> </ul>																			
本体内工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>新病院の建設工事</li> <li>意図伝達業務・工事監理</li> <li>CM業務②</li> </ul>																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>CM業務</li> </ul>																			
付帯工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体設計業務</li> <li>現病院解体工事</li> </ul>																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修設計業務①</li> <li>改修設計業務②</li> <li>付属棟改修工事①</li> <li>付属棟改修工事②</li> <li>研修棟改修工事</li> </ul>																			
医療機器整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器整備</li> <li>開院支援業務(医療コンサルタレント)</li> <li>引越・開院準備</li> </ul>																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器等整備</li> <li>医療機器整備計画・開院支援</li> <li>医療機器整備</li> <li>引越・開院準備</li> <li>待合システム等導入・電カル移設</li> <li>什器備品購入</li> </ul>																			

事業名	2 県立宮崎病院エネルギーサービス事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・県単		

### 1 事業の目的

新病院の空調用熱源機器等の整備、運用、維持管理をエネルギーサービス事業者（ES事業者）に一体的に行わせることで、これに係る費用の抑制を図る。

### 2 事業の概要

#### (1) 事業費

2,401,146千円（債務負担行為設定額：令和元年度～令和18年度）

#### (2) 事業内容

ES事業者が、自らの資金で新病院の空調用熱源機器等の施工を行うとともに、完成後は、エネルギーの供給、設備の運転監視及び維持保全等を行う。

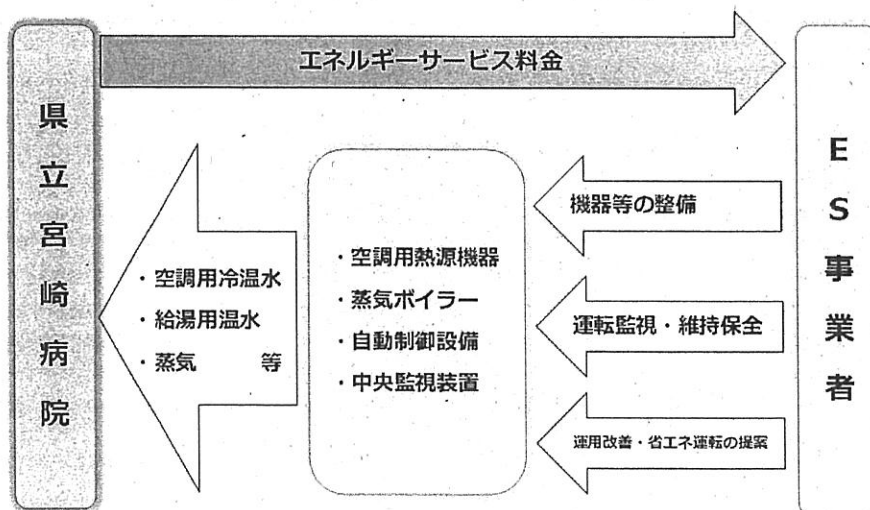
病院はこれらの対価としてエネルギーサービス料を支払う。

※ エネルギーサービス期間：新病院完成後15年間

### 3 事業の効果

- (1) 新病院の空調用熱源機器等に係る整備費の抑制と平準化を図ることができる。
- (2) 省エネルギー化や対象機器の長寿命化、維持管理業務の軽減を図ることができる。

※ エネルギーサービス事業のイメージ



事業名	3. 県立延岡病院心臓脳血管センター整備事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・県単		
<p><b>1 事業の目的</b></p> <p>県北地域において、循環器疾患及び脳血管障害への迅速・的確な医療の提供を行うため、地域の中核病院である延岡病院に心臓脳血管センターを整備する。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 事業費 125,000千円（医療機械整備）</p> <p>(2) 事業内容 平成30年度に県立延岡病院に整備した心臓脳血管センターに、2台目の心臓カテーテル検査・治療用X線血管造影装置を購入し、設置する。</p> <p><b>3 事業の効果</b></p> <p>(1) 心臓カテーテル装置を2台体制にすることにより、緊急を要するカテーテル検査等が重なった場合にも対応できるようになり、県北地域における心血管疾患の急性期治療体制を充実させることができる。</p> <p>(2) 治療体制の充実に伴い、多くの症例に対応できるようになるため、病院機能が向上するとともに、研修施設としての魅力が高まることで医師確保にも高い効果が期待できる。</p>				



事業名	4 県立病院経営改善事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・ <u>県単</u>		

### 1 事業の目的

少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、国の医療制度改革など、医療を取り巻く環境が急速に変化する中で、県立病院として期待されている役割や機能を十分に果たすため、DPC制度（診断群分類別包括評価）などの診療情報等を活用した専門的な見地から分析を行うとともに、医療機器の定期保守等の各種経費の見直しを行い、有効な経営改善策を講じることにより、安定した経営基盤の確立を図る。

### 2 事業の概要

#### (1) 事業費

55,000千円（全額自主財源）

#### (2) 事業内容

##### ① 経営改善支援業務

DPC制度に対応した医療の標準化及び入退院に関する業務の集約化等を行い、効率的な医療提供体制の強化を図り、経営基盤の安定化に寄与する。

##### ② コスト削減支援業務

高額医療機器の導入に伴い必要となる定期保守契約などの委託料を中心とした各種経費について、内容の見直しを行い、コスト削減を図る。

### 3 事業の効果

- (1) DPC分析により、医療提供の改善余地を把握することができ、県立病院の収益確保や医療資源使用の適正化による収支改善が期待できるとともに、質の高い医療提供体制の充実につながる。
- (2) 各種の経営改善のノウハウを職員が習得することにより、経営参画意識をより一層向上させることにつながり、病院経営に精通する人材を育成することができる。
- (3) 収益向上及び費用削減により経営基盤の安定化を図ることにより、県民に高度で良質な医療を継続的に提供していく体制の構築に寄与する。

事業名	5 地域医療連携推進事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・ <u>県庫</u>		
<p><b>1 事業の目的</b></p> <p>県立病院が全県レベルあるいは地域の中核病院としての役割を果たすため、県医療計画が目指す患者の症状に応じた切れ目のない医療・介護サービスの提供が図られるよう、かかりつけ医を含めた地域の医療機関等との連携を進める。</p> <p>また、医療に関する情報を発信し、県民が医療機関を適切に選択できるよう支援する。</p>				
<p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 事業費 10,500千円（全額自主財源）</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>① 地域医療機関連携・支援事業</p> <p>地域医療の充実を図るための地域医療従事者に対する研修会や地域のかかりつけ医等の連携を図るための症例検討会の実施、医療器械を含む施設の共同利用のための勉強会等を開催する。</p> <p>② 医療情報等提供事業</p> <p>県民の病気等に対する正確な知識の習得と適切な治療機会の確保を図るため、広報誌等の活用や県民を対象とした講演会を行う。</p> <p>また、県立病院で提供している高度医療等について積極的に情報を公表し、県民が身近なところで治療ができるよう支援を行う。</p>				
<p><b>3 事業の効果</b></p> <p>(1) 地域の医療機関等との連携を進めることにより、かかりつけ医が県立病院の十分な後方支援を受けられるようになるなど、地域医療の充実が図られ、患者が身近な地域で安心して治療を受ける環境が整備される。</p> <p>(2) 県立病院の高度医療提供体制等について、適切に情報発信することにより、県民の理解が深まり、患者の増加のみならず、研修医の増加や優秀な看護師等の確保も図られる。</p>				

事業名	6 高度医療専門人材等育成事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・県単		
<p><b>1 事業の目的</b></p> <p>医師や看護師、薬剤師等の医療スタッフの専門資格の取得・更新等を支援し、高度かつ専門的な医療提供体制の一層の向上を図るとともに、事務スタッフの事務力強化を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 事業費 30,169千円（全額自主財源）</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>① 先進病院短期派遣研修事業 医師等の資質向上を図るため、国内の先進病院へ短期間派遣し、高度・先進医療の技術を習得させることを目的とする。</p> <p>② 医師国際学会派遣事業 国際的にレベルの高い学会において研究成果の発表を行い、世界中の医師とともに研鑽することで、さらなる医療レベルの向上を図る。</p> <p>③ 認定看護師育成等事業 特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有する看護職員の養成等を図り、県立病院における医療水準及び患者サービスの向上を図る。</p> <p>④ コメディカルスタッフ育成事業 医師、看護師とともにチーム医療を担うコメディカルスタッフの専門資格取得を促進し、県立病院における医療水準及び患者サービスの向上を図る。</p> <p>⑤ 医療事務スタッフ育成事業 事務部門職員の専門性の向上等、事務力の強化を図り、医療現場の円滑な運営や医療制度等を的確に踏まえた病院経営に取り組む。</p> <p><b>3 事業の効果</b></p> <p>(1) 医師や看護師及びコメディカルスタッフの専門性を高めることにより、提供する医療の質及び患者サービスの一層の向上が図られる。</p> <p>(2) 医療事務職員の基礎知識あるいは専門知識の向上を図ることにより、病院事業の円滑かつ効率的な運営につながる。</p>				

事業名	7 臨床研修医確保・育成事業	新・改・既	課名	経営管理課
		国庫・県単		

### 1 事業の目的

県立病院における臨床研修医（初期・後期）の研修・教育体制の充実に取り組み、県立病院をはじめ県内で勤務を希望する医師の確保、育成を図る。

### 2 事業の概要

#### (1) 事業費

15,605千円（全額自主財源）

#### (2) 事業内容

##### ① 臨床研修医確保事業

研修医確保のため県内の研修病院合同での説明会への参加や医学生向けバスツアーの開催、研修医募集用のPRツールの作成など積極的な活動を行う。

ア 県内の他の基幹型研修病院と合同で病院説明会へ出展

イ 医学生向け病院見学バスツアーの実施

ウ 医学生向け雑誌への広告掲載及びPR用リーフレットの作成

##### ② 臨床研修医育成事業

院内外の講師による研修医向けセミナーの定期的な開催や教育サポートツールの導入など研修・教育環境の充実に努めるとともに、研修医の学会発表や講習会参加等を支援し、人材育成に努める。

ア 研修医向け勉強会・セミナーの開催

イ 学会等派遣支援

ウ 診断サポートツール等の教育環境の整備

### 3 事業の効果

(1) 県立病院における研修・教育支援体制を強化し、アピールポイントとして打ち出すことにより、研修医の人材確保に取り組むことができる。

(2) 研修医の確保・育成により、県立病院の診療体制の充実と収益効果が期待できるとともに、県全体の医療体制の充実につながる。

(参考) 過去10年の臨床研修医マッチング実績

(単位：人)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
7	5	8	10	11	16	14	13	20	19